



平成24年度 学校だより (NO. 497)



くぬぎ台小

運動会特別号

平成24年10月5日刊
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ！ [くぬぎ台](#) → [検索](#)

前日までのお客様 = 15,325人



総計132個のメダル獲得！

校長 藤井 芳樹

ロンドンオリンピックでは、日本は38個のメダルを獲得しました。パラリンピックでは18個でした。果たして、くぬぎっ子たちが自分で決めた自分達のメダル獲得数は右のようでした。

金 = 70

銀 = 47

銅 = 15

9月15日(土)、心配していた天候も(例年は雨の心配なのですが、今年は熱中症の心配でした。)、ちょうど良い日差しとちょうど良い曇りとちょうど良い雨の量(涼)でした。

保護者ご家族・地域の皆様方には、土曜日にもかかわらず、ご多用な中を多くの参観を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで、横浜市立くぬぎ台小学校での最後の運動会を盛会の内に終わることができました。

枠のメダル数は、運動会の翌週、子どもたちに答えてもらったアンケートの集計結果です。

「今年の運動会をまとめると、あなたはどのメダルをもらえそうですか。」という質問でした。選んだ理由も書いてもらいました。子どもたちは正直に自分の思いを教えてくださいました。

徒競走で一位だったから金、二位だったから銀、三位だったから銅と素直な気持ちで自己評価をしてくれた人もいました。また、複雑に冷静に自分の運動会を振り返っている子どもたちが多かったことにも感激しました。それぞれが、最後の運動会をしっかりと心の宝箱にしまってくれたのだと感じました。

銅：全力を出しきれなかった。

銀：演技で腰が動いてしまったから。

金：白組はまけちゃったけど、大きいな声で応援したから

銀：応援団でも徒競走でもがんばったけど、何かパーフェクトではないと思うから。

徒競走など、勝ち負けを競い合うことを否定した時期もあったことを記憶しています。しかし今は、勝ち負けの悲しさを体験させないことよりも、全力を尽くしたかどうか取り組みに悔いがないかどうかという視点から、ゴールした後の子どもの心を支え励まし、次への期待や励みに繋げていくことの必要性を感じます。

演技で砂だらけの背中をはたかない誇り、途中で脱げた靴など気にしないゴール、全力を出し合った相手への賞賛、自分への誇り、次を見つめた振り返り、全てが良い体験となって次に繋がります。

本校の徒競走では、1位に3点・2位に2点の得点が所属の紅白に加算されます。3位・4位・5位にも1点が与えられます。自分が参加したことでチームに貢献できたという意識とプライドをもってもらいたいというねらいがあります。くぬぎ台小学校のメダル獲得数は、皆がそれぞれに自信をもって決めたメダルの合計だったと思います。

最後になりましたが、川島小学校には5月に実施された運動会にご招待いただいたにもかかわらず、本校最後の運動会を「閉じる」と「交流」の二つの目的とせず、「閉じる」こと一本にすることにご理解いただいたことに感謝申し上げます。

来年度は、統合された川島小学校運動場にて新しい仲間達との運動会が盛大に開催されることでしょうか。その折りにも、今回同様に子どもたちへの熱い声援をお願いいたします。

今日、平成24年度前期の教育活動が全て終了しました。前期ですべき事、全てをやりつくした学期だったでしょうか。明日からの三連休を振り返りの時としてエネルギーをため、新学期には新鮮な気持ちでくぬぎっ子たちと再会したいと思います。

ふれあい・たすけあい運動会！ エピソードいろいろ

episode-1-

男子成人リレーをやりたい！

あるお父様の夏休み前からの願いです。残念ながら、時間の都合や安全面、企画運営の関係から断念させていただきました。

でも、自分たちもくぬぎ台小学校最後の運動会に関わりたい、思い出のひとつに加わりたいという思いに感謝です。

で、運動会の片付けに一番関わってくださいました。本当に、ありがとうございました。

episode-3-

卒業生のお手伝い35名！

今年も、大勢の卒業生達が集まってくれました。久しぶりに出会ったくぬぎっ子たちは、少し大人びていて眩しく見えました。自慢の子どもたちです。

用具の準備や片付けを主に手伝ってくれました。応援合戦にも参加して、小学生の演技と一緒にしてくれました。

運動会が終わった後、彼らにはお礼と共に、「いつまでも、くぬぎ台小学校の卒業生だと胸をはって欲しい。」と伝えました。

episode-5-

私の時の騎馬戦はね……

当日応援に来て下さった西谷中学校の校長先生が、『私たちの時の騎馬戦はね……』と話している方がいましたよ、と報告してくださいました。

それぞれの時代に、それぞれの人に、くぬぎ台小学校の運動会の思い出があるんですね。学校は、それを大切にしていきたいと思います。

episode-7-

演技づくり、今昔。

昔は、運動会というと横浜市の先生が全員と言っていいほど「マリユス」というレコード屋さんに行って運動会演技の音楽を探しました。

今は、職員室のパソコンでインターネットで調べ、日本中の運動会を参考にして演技を構成しています。結果として、今回も個性あふれる素晴らしい演技ができました。

episode-2-

たばこの吸い殻なし！ 飲酒もなし！

運動会の翌日、地域の会合に参加しました。その時に、ある役員の方からご報告をいただきました。例年、運動会の日には学校周辺の見回りをして下さる方です。（「素晴らしい運動会だった。」の後に付け加えて。）

正門付近にはタバコの吸い殻が一本もなかった、お酒を飲んでいる人は見かけなかったとのことでした。保護者ご家族・地域の方々のご配慮に感謝いたします。

そういう物言わぬ大人の行動を子どもたちはじっと見ていてくれます。背中でものを教えられる大人を目指していきたいものです。

episode-4-

テント下はおおにぎわい。

今年の来賓席、ふれあい席は例年以上にいっぱいでした。くぬぎ台小学校最後の運動会として、多くの卒業生、保護者OBが参観に来て下さったからです。中には、「息子は、最初の卒業生です。」とあって、親子で参観して下さいました。

みなさん、しっかりと心に焼き付けてくださいましたか。

episode-6-

大団旗は、熱い教材研究から生まれた。

中学年の演技「YOSAKOI くぬぎっ子ソーラン」。それは、音楽の授業から生まれました。授業で子どもを盛り上げるために音楽の先生が、渋谷まで行って買ってきた「大漁旗」でした。

これは使える！そう思い立って夏休みに同じく渋谷まで大漁旗を買いにいきました。それをミシンを使って丈夫でかっこよく縫ってくださった先生、その大きな旗の振り方を指導してくださった先生、その旗の重さに負けずに走り回った副団長のくぬぎっ子。連携プレーの大団旗誕生秘話です。

笑顔の輪をいつまでも くぬぎっ子魂を見せつける

228

太陽のように燃えて輝け
勝つぞ
赤組
優勝だ!



ご家族・地域の皆様も参加していただきありがとうございました。



ずっと
踊ってきた「夢を叶えてドラえもん」です。みんな上手になったよねえ。またいつか、みんなと一緒に踊ろうね。



くぬぎ台小最後の決戦だぜえ〜。正々堂々と全力をつくしあおうぜえ!



平成24年度
第41回

くぬぎっ子運動会

それぞれの心の中の
宝箱にしまっ
一つのもの
一つのこと



お家の人を探してます。私は母ではありませんよ。



先輩くぬぎっ子達! お手伝い、本当にありがとう!

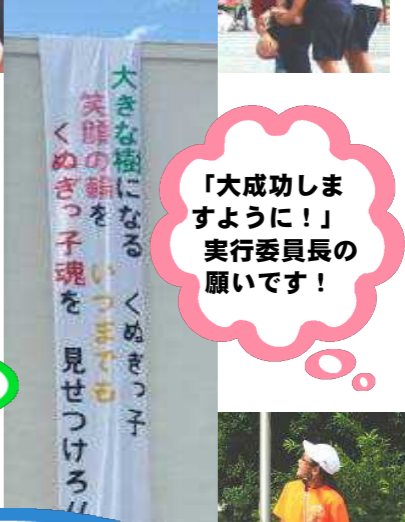
どんな子どもも悔いなく運動会を終えられるように! そのためだったら、私たちは黒子に徹します。

来賓の方々もPTAのパン食い競争に参加してくださいました。メロンパンは大好評! ご多用な中をご参加、ありがとうございました。



PTAから、最高の贈り物です。デザインは、くぬぎっ子たちのアイデアの集大成です。いつもでも大切にします!

「大成功しますように!」実行委員長の願いです!



219

白の力を爆発させる
最後に勝つのは
白組だ!

